

2016年度以前入学／法（国際政治学科除く）・文・経営学部生用 再履修ガイド

（１）外国語必修科目の再履修（外国語必修科目の単位を修得できなかった場合）

留級した学生は、最終ページの「留級した学生が外国語科目を履修する場合」を参照のうえ履修方法を確認してください。

<英語>再履修の方法

- （１） 前年度に、春学期科目（～Ⅰ）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（～Ⅱ）を修得できなかった場合は秋学期科目を再履修してください。
- （２） 「再履修クラス」と「外部英語能力試験のスコアによって未修得単位を修得」の2つの方法があります。再履修する科目が2科目以上ある場合は2つの方法を組み合わせることもできます。

※2018年度より、英語選択科目による必修科目への代替制度は廃止となりました。

■再履修クラス（土曜3・4時限）を履修する場合

必ず指定されたクラスを受講してください。指定クラスは4月17日に掲示板に発表予定です。詳細は市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）WEB 掲示板にて確認してください。

■外部英語能力試験のスコアによって未修得単位を修得する場合

★新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外部英語能力試験の中止が続いています。2020年度は指定された期間に受験ができない可能性もあります。特に2020年度に履修できないと留級する3年次生は、本方法を選択しないようにしてください。

（以下赤字4月16日追記）<2020年度のみ対応>「TOEFL iBT®」について、「TOEFL iBT® Special Home Edition」での受験を認めます。なお、スコア換算表に変更はありません。特に2020年度に履修できないと留級する3年次生について、受験できない可能性があることから当初本方法を選択しないよう案内していましたが、希望する場合には、事前に通信環境を自分で確認の上、「TOEFL iBT® Special Home Edition」の受験を行ってください。

定められた期間内に、TOEFL®、TOEIC®、IELTSを受験し、一定スコアを取得した結果を提出することにより英語必修科目の未修得単位が認定されます。英語必修科目の未修得単位を超えた認定はされません。この認定には履修登録が必要であり、評価は「R」（認定）となります。

この措置は、前年度英語必修科目が不合格または未履修だった場合にのみ適用されます。1年次生はこの措置を申請することはできません。

留級して1年次生となった学生もこの措置を申請することはできません。留級して1年次生となった学生はクラス授業を受講してください。「留級した学生が外国語科目を履修する方法」を参照してください。

教員免許取得のために英語の単位を修得する場合はこの方法は適用できません。「再履修クラス」で履修してください。

【対象となる試験】

TOEFL® (iBT)、TOEIC® (Listening & Reading)、IELTS(アカデミック・モジュール)

（4月16日追記）<2020年度のみ対応>「TOEFL iBT®」について、「TOEFL iBT® Special Home Edition」での受験を認めます。なお、スコア換算表に変更はありません。

※ただし TOEFL® - ITP、TOEIC® - IP によるスコア認定はできません。試験の実施日程や受験方法は各自webなどで調べてください。

【スコアの有効期間】

2020年4月1日以降に実施されたもので、2021年1月8日までにスコアの証明書が提出できるもの

【申請手順の流れ】

① 2020年度春学期の所属学部の履修登録期間

【英語スコア認定：登録番号一覧】の、自分の修得したい科目の登録番号で履修登録してください。履修登録をしていない場合は単位認定されません。この時点でスコアを取得している必要はありませんが、試験のスケジュールやレベルを確認し、十分に検討してから登録してください。

② 2020年12月14日（月）～2021年1月8日（金）

スコアの提出（大内山校舎1階の証明書発行機前に設置されているポストに提出）
各学部窓口、または市ヶ谷リベラルアーツセンター（ILAC）WEB 掲示板より申請用紙を入手し、スコアの証明書（必ず本人写真が掲載されているもの）を添付して申請してください。履修登録をしても、上記指定期間内に申請用紙を提出しない場合は単位は認められません。申請用紙を提出しない場合の成績は「E」評価となります。また、申請用紙を提出してもスコアが達しない場合・スコアを添付していない場合は「D」評価となります。

【注意事項】

(1) 同じ科目について「再履修クラス」と「スコア認定」を併用することはできません。2科目以上再履修する場合は1つの科目について1つの方法であれば、2つの方法を併用することができます。

例① 再履修する科目が1科目「English 2 I」のみの場合

再履修の方法は「英語選択科目授業の履修」と「スコア認定」のいずれか（併用は不可）。

例② 再履修する科目が2科目「English 2 I」「English 2 II」の場合

「English 2 I」は「英語選択科目授業の履修」、「English 2 II」は「スコア認定」というように2科目を別々の方法で再履修することが可能。

※1つの科目を2つの方法で再履修することはできない。

※2つの科目を2科目とも同じ方法で再履修してもよい。

(2) 履修登録期間終了後、年度途中で「スコア認定」を登録したり、登録を取り消したりすることはできません。また、秋学期の履修登録変更申請においても、スコア認定にかかわる履修登録の追加・変更・削除はできません。

(3) 取得したスコアが、履修登録した科目数（単位数）のスコア基準よりも低い場合は、【外部英語能力試験 スコア認定単位換算表】に表記されている科目数（単位数）だけ認定されます（認定する科目は大学が決定します）。認定されなかった分の科目は「D」評価として成績通知書に表記されます。

例) 2科目履修登録したが1科目分のスコアしか取得できなかった。 → 1科目分のみ認定

(4) 修得したスコアが高くても履修登録していない科目を認定することはできません。

例) 2科目履修登録したが3科目分のスコアを取得できた。 → 2科目分のみ認定

(5) スコアの証明書は本人写真が掲載されたもののみ認めます。本人写真の掲載されていない証明書は認めません。

【外部英語能力試験 スコア認定単位換算表】

換算表は今年度用です。次年度以降は変更になる場合があります。

		認定科目数（単位 数）
Aスコア	TOEFL® iBT 88点以上, TOEIC® 800点以上, IELTS 6.5以上	4科目(4単位)まで認定
Bスコア	TOEFL® iBT 71点以上, TOEIC® 700点以上, IELTS 6.0以上	3科目(3単位)まで認定
Cスコア	TOEFL® iBT 57点以上, TOEIC® 600点以上, IELTS 5.5以上	2科目(2単位)まで認定
Dスコア	TOEFL® iBT 45点以上, TOEIC® 500点以上, IELTS 5.0以上	1科目(1単位)まで認定
Dスコア未満	TOEFL® iBT 44点以下, TOEIC® 499点以下, IELTS 4.5以下	認定不可

【英語スコア認定：登録番号一覧】

スコア認定で 修得したい科目	履修登録確認通知書・ 成績通知書での表記	曜日・時限	登録番号	認定単位数
English1 I	English1 I (スコア認定)	集中・その他	E0751	1単位
English1 II	English1 II (スコア認定)	集中・その他	E0752	1単位
English2 I	English2 I (スコア認定)	集中・その他	E0753	1単位
English2 II	English2 II (スコア認定)	集中・その他	E0754	1単位

＜諸外国語＞再履修の方法

- (1) 前年度に、春学期科目（〇〇語Ⅰ）を修得できなかった場合は春学期科目を、秋学期科目（〇〇語Ⅱ）を修得できなかった場合は秋学期科目を再履修してください。

いずれの科目も必ず自分で履修登録を行ってください。

- (2) 履修する場合は、ILAC科目時間割表で、法（国際政治学科除く）・文・経営のいずれかのクラスを選んで履修します。まずは春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。（秋学期科目のみの場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください）。

授業開始後2週目終了後、受講クラスが決まっていない学生はGoogleフォームで受付を行い個別対応します。詳細はILACの臨時WEB掲示板を確認してください。

補講クラスの登録番号はこちらから確認して自分で履修登録してください。

（次ページへ続く）

(3)『クラス授業以外で履修できる4群科目』で代替することも可能です。必ず春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム(「お知らせ」)で教員より通知します。秋学期科目だけを履修する場合も春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。

登録番号は[こちら](#)から確認してください。

諸 外 国 語 1 ・ 2	日本語1 I/II 日本語2 I/II	基礎科目時間割表より、該当科目を選び履修してください。なお、再履修の科目が2科目以上ある場合でも、学部・クラスの指定はありません。 (例) 経営学部2年生が、日本語1 I (春学期)は法学部の授業を履修し、日本語2 II (秋学期)は文学部の授業を履修する、ということもできます。
	中国語1 I/II 中国語2 I/II	後述「中国語1・2の再履修の方法について」を参照してください。
	朝鮮語1 I/II 朝鮮語2 I/II	基礎科目時間割表より、該当科目を選び履修してください。学部・クラスの指定はありませんが、朝鮮語1と朝鮮語2が同じクラスになるように履修してください。 (例) 2年M組の学生が、朝鮮語1 I (春学期)を法学部1年A組の授業で履修する場合は、朝鮮語2 I (春学期)も法学部1年A組の授業で履修。
		クラス授業で再履修する方法と「〇〇語補講」で履修する方法があります。再履修する科目が2科目以上ある場合は2つの方法を組み合わせることもできます。 I (春学期科目)の再履修は春学期、II (秋学期科目)の再履修は秋学期でしか履修できません。 受講希望者多数の場合は春学期1回目の授業で受講者の選抜を行います。必ず春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム(「お知らせ」)で教員より通知します。秋学期科目だけを履修する場合も春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。
		履修登録は自分が修得したい科目に該当する登録番号で行います。基礎科目掲示板の掲示で確認してください。
	ドイツ語1 I/II ドイツ語2 I/II フランス語1 I/II フランス語2 I/II ロシア語1 I/II ロシア語2 I/II スペイン語1 I/II スペイン語2 I/II	<p>■クラス授業で再履修する場合</p> <p>基礎科目時間割表より、該当科目を選び履修してください。なお、再履修の科目が2科目以上ある場合でも、学部・クラスの指定はありません。 (例) 2年M組の学生が、スペイン語1 I (春学期)は法学部1年N組の授業を履修し、スペイン語2 II (秋学期)は文学部1年A組の授業を履修する、ということもできます。</p> <p>■「〇〇語補講」で履修する場合</p> <p><ドイツ語・フランス語・ロシア語> 基礎科目時間割表より「ドイツ語補講1-I/II」「ドイツ語補講2-I/II」「フランス語補講1-I/II」「フランス語補講2-I/II」「ロシア語補講1-I/II」「ロシア語補講2-I/II」を探して履修してください。 (例)「〇〇語1 I」を履修する場合は「〇〇語補講1-I」を履修します。I (春学期科目)の再履修は春学期、II (秋学期科目)の再履修は秋学期でしか履修できません。</p> <p><スペイン語> 基礎科目時間割表より「スペイン語補講1・2 I/II」を探して履修してください。この授業を履修することによってスペイン語1、スペイン語2のいずれかの科目の単位を修得することができます。ただし、I (春学期科目)の再履修は春学期、II (秋学期科目)の再履修は秋学期でしか履修できません。</p>

諸 外 国 語 3 ・ 4 ・ 5	<パターン①>の 〇〇語3 I / II		<p>■クラス授業で履修する場合 基礎科目時間割表より、該当科目（「重点」ではない通常のクラス授業）を選び履修してください。学部・クラスの指定はありません。</p> <p>■「〇〇語補講」で履修する場合 <フランス語・中国語・スペイン語のみ> 基礎科目時間割表より「フランス語補講3 I / II」「中国語補講3 I / II」「スペイン語補講3 I / II」を探して履修してください。</p> <p>◇◆注意「中国語3 I / II」について◆◇ 2019年度より、「中国語3 I / II」の再履修方法は、「補講クラスを受講（「中国語補講3 I / II」を受講）する」方法、または『クラス授業以外で履修できる4群科目』で代替する方法のみとなりました。「クラス授業で履修する」方法では再履修できません。十分注意してください。</p> <p>ただし、I（春学期科目）の再履修は春学期、II（秋学期科目）の再履修は秋学期でしか履修できません。</p>
	日本語3 I / II 日本語4 I / II		
	<パターン②> <パターン③> の〇〇語 3 I / II	フランス語	基礎科目時間割表より、「〇〇語3 I / II・重点」を探して履修してください。 または、<フランス語のみ>基礎科目時間割表より「フランス語補講3 I / II」を探して履修してください。
		朝鮮語	
		ドイツ語	基礎科目時間割表より、該当科目（「重点」ではない通常のクラス授業）を選び履修してください。 または、<中国語・スペイン語のみ>基礎科目時間割表より「中国語補講3 I / II」「スペイン語補講3 I / II」を探して履修してください。
		ロシア語	
スペイン語 中国語			
<パターン②③>の 〇〇語4 I / II		基礎科目時間割表より、「〇〇語4 I / II・重点」を探して履修してください。	
<パターン③>の 〇〇語5 I / II		基礎科目時間割表より、「〇〇語5 I / II・重点」を探して履修してください。 ※ 「ドイツ語5 I / II」「スペイン語5 I / II」「中国語5 I / II」「朝鮮語5 I / II」および「日本語5 I / II」は、履修の手引き「クラス授業以外で外国語必修単位を修得する場合」のとおり履修してください。	

<中国語1・2の再履修の方法について>

「中国語1 I」「中国語1 II」「中国語2 I」「中国語2 II」のいずれかを再履修する場合は、以下のパターンにしたがって受講してください。中国語1と中国語2はリレー方式で授業を行うため、このパターンに合わない方法で受講すると、試験などで不利になることがあります。

■中国語の単位修得状況と再履修パターンの対照表

自分の単位修得状況が以下のどれに当てはまるかをよく確認して、A~Hのうち該当するパターンで受講してください。

受講希望者多数の場合は春学期1回目の授業で受講者の選抜を行います。必ず春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。秋学期科目だけを履修する場合も春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。

補講クラスの登録番号は[こちら](#)から確認してください。

↓ たて方向に見て、自分がどのパターンなのか確認してください。 ↓

「-」は単位修得済み（合格）、「再履」は単位未修得（不合格＝再履修）

中国語1Ⅰ（春学期）	-	-	-	再履	-	再履	-	再履	-	再履	再履	再履	再履	-	再履
中国語1Ⅱ（秋学期）	-	-	再履	-	-	再履	再履	-	再履	-	再履	再履	-	再履	再履
中国語2Ⅰ（春学期）	-	再履	-	-	再履	-	再履	-	-	再履	再履	-	再履	再履	再履
中国語2Ⅱ（秋学期）	再履	-	-	-	再履	-	-	再履	再履	-	-	再履	再履	再履	再履

再履修のパターン→	A	B	A	B	C	C	C	C	D	E	F	G	F	G	H
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

■再履修の方法（A～Hパターン）

A	<p>秋学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講 秋学期に「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。</p>
B	<p>春学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講 春学期に「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。</p>
C	<p>春学期、秋学期ともに『中国語補講※学部指定あり』を受講 春学期、秋学期ともに「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。</p>
D	<p>秋学期にクラス授業を受講 法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅱ」と「中国語2Ⅱ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。 例）<u>法学部1年C組</u>の「中国語1Ⅱ」を受講する場合は「中国語2Ⅱ」も<u>法学部1年C組</u>の授業を受講する</p>
E	<p>春学期にクラス授業を受講 法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅰ」と「中国語2Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。 例）<u>法学部1年C組</u>の「中国語1Ⅰ」を受講する場合は「中国語2Ⅰ」も<u>法学部1年C組</u>の授業を受講する</p>
F	<p>春学期はクラス授業を受講、秋学期は『中国語補講※学部指定あり』を受講 <春学期>法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅰ」と「中国語2Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。 例）<u>法学部1年C組</u>の「中国語1Ⅰ」を受講する場合は「中国語2Ⅰ」も<u>法学部1年C組</u>の授業を受講する <秋学期>「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。</p>
G	<p>春学期は『中国語補講※学部指定あり』を受講、秋学期はクラス授業を受講 <春学期>「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。 <秋学期>法文堂のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語1Ⅱ」と「中国語2Ⅱ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。 例）<u>法学部1年C組</u>の「中国語1Ⅱ」を受講する場合は「中国語2Ⅱ」も<u>法学部1年C組</u>の授業を受講する</p>

H	<p>春・秋学期ともにクラス授業で受講</p> <p>＜春学期＞法文営のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている「中国語1Ⅰ」と「中国語2Ⅰ」の組み合わせ</u>を選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。</p> <p>例）<u>法学部1年C組の「中国語1Ⅰ」を受講する場合は「中国語2Ⅰ」も法学部1年C組の授業を受講する</u></p> <p>＜秋学期＞法文営のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている「中国語1Ⅱ」と「中国語2Ⅱ」</u>を選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。</p> <p>例）<u>法学部1年C組の「中国語1Ⅱ」を受講する場合は「中国語2Ⅱ」も法学部1年C組の授業を受講する</u></p>
---	--

留級した学生が外国語科目を履修する場合

留級した学生が未修得の外国語科目を履修する場合は以下の表に従って履修してください。

※前年度までに単位を修得した科目は履修する必要はありません。

※未修得の科目は、前年度に履修（受講）したかどうかにかかわらず以下の表に従ってください。

< 1年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

English 1 I / II English 2 I / II	クラス指定があります。クラス分けはWEB 掲示板で発表します。
〇〇語 1 I / II 〇〇語 2 I / II	各学部履修の手引き<履修上の注意>「2. 外国語の履修（市ヶ谷基礎科目 4 群）」の <u>クラス授業で外国語必修単位を修得する場合</u> に記載のとおり履修してください。

< 2年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

English 1 I / II English 2 I / II	前ページまでの「外国語必修科目の再履修」の記載のとおり履修してください。
〇〇語 1 I / II 〇〇語 2 I / II	
〇〇語 3 I / II 〇〇語 4 I / II 〇〇語 5 I / II	各学部履修の手引き<履修上の注意>「2. 外国語の履修（市ヶ谷基礎科目 4 群）」の <u>クラス授業で外国語必修単位を修得する場合</u> または <u>クラス授業以外で外国語必修単位を修得する場合</u> の記載のとおり履修してください。

< 3年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

English 1 I / II English 2 I / II	前ページまでの「外国語必修科目の再履修」の記載のとおり履修してください。
〇〇語 1 I / II	
〇〇語 2 I / II	
〇〇語 3 I / II	
〇〇語 4 I / II 〇〇語 5 I / II	